

### 3.1 概要

外郭施設としての防波堤は、外洋からの波浪から港内を静穏に維持し、荷役の円滑化、船舶の航行・停泊の安全および港内施設の保全を図るために設けられるものである。防波堤の構造形式の選定にあたっては、施工条件、自然条件、工費や工期等を比較検討して決定される。

防波堤は構造形式により、一般的に表-3.1のように分類される。

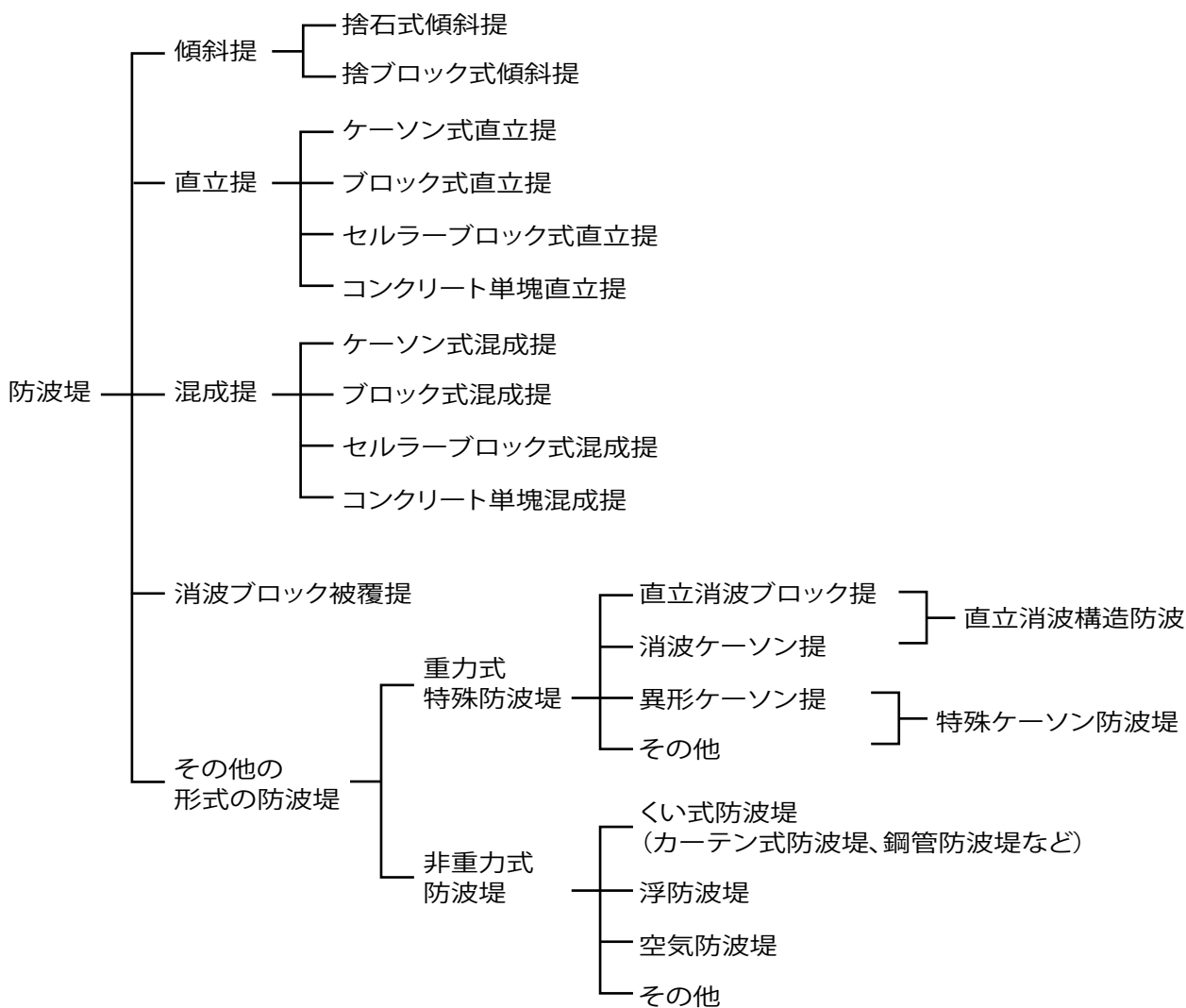


表-3.1 防波堤の一般的な分類

PC構造の防波堤は、強度、耐久性に優れ、プレハブ施工に適している利点があり、波浪条件の厳しい沖合いの大水深域や、軽量化を生かして軟弱粘土層の厚い海域での採用、また海水浄化、水産協調等多目的機能の付加を必要とする場合などに採用される。